

平成 27 年度
環 境 測 定 調 査

報 告 書

平成 28 年 3 月

松前町

目 次

1. 業務概要	- 3 -
1-1 業務目的	- 3 -
1-2 業務件名	- 3 -
1-3 業務場所	- 3 -
1-4 業務期間	- 3 -
1-5 業務数量	- 3 -
2. 大気汚染測定調査業務	- 5 -
2-1 測定地点及び分析回数	- 5 -
2-2 業務内容等	- 5 -
2-3 業務内容等	- 5 -
2-4 調査結果	- 6 -
2-5 評価結果	- 7 -
3. 公共用水域水質採水調査業務	- 9 -
3-1 測定地点及び分析回数	- 9 -
3-2 業務内容等	- 9 -
3-3 計量方法	- 9 -
3-4 調査結果	- 11 -
3-5 評価結果	- 15 -
4. 騒音測定調査業務	- 18 -
4-1 測定地点及び分析回数	- 18 -
4-2 業務内容等	- 18 -
4-3 調査方法	- 18 -
4-4 調査結果	- 19 -
4-7 評価結果	- 22 -
5. 環境悪臭物質測定調査業務	- 24 -
5-1 測定地点及び分析回数	- 24 -
5-2 業務内容等	- 24 -
5-3 計量方法	- 24 -
5-4 調査結果	- 25 -
5-4 評価結果	- 26 -

<添付資料>

- ◆濃度計量証明書等
- ◆騒音測定等調査結果
- ◆基準値等
- ◆現地調査状況写真

1. 業務概要

1-1 業務目的

本業務は松前町の生活環境の保全を目的とし、大気、水質、騒音及び悪臭の4分野において実態を把握するために各種測定調査を実施する。

1-2 業務件名

平成27年度環境測定調査業務

1-3 業務場所

業務場所は図1-1に示す愛媛県伊予郡松前町一円である。

1-4 業務期間

自) 平成27年 4月 1日

至) 平成28年 3月 31日

1-5 業務数量

業務数量は、表1-1に示すとおりである。

表1-1 業務数量一覧

項目	種別	箇所数	回数	備考
1) 大気汚染測定調査業務	環境大気	4箇所	12回	毎月1回実施
2) 公共用水域水質採水分析業務	河川域	6箇所	4回	
	海域	5箇所	2回	うち、1回は船上より実施
	汽水域	2箇所	3回	
3) 騒音測定調査業務	環境騒音	6箇所	1回	24時間測定
	交通騒音	3箇所	1回	道路沿道:24時間測定 背後地騒音:(4回/日)
4) 環境悪臭物質測定調査業務		4箇所	2回	

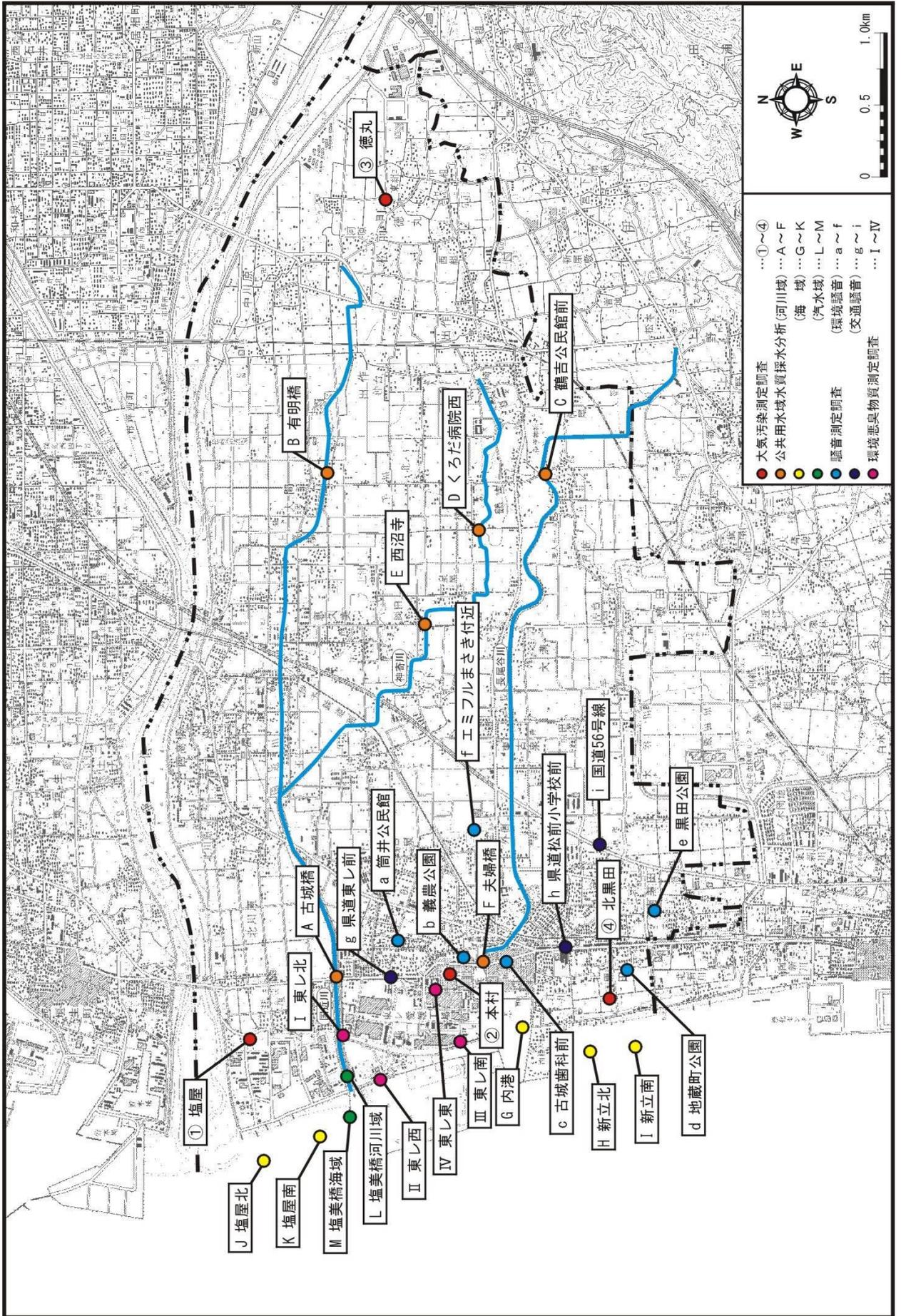


图 1-1 調査地点位置

2. 大気汚染測定調査業務

各地点の環境大気中の硫黄酸化物濃度の測定を行った。

2-1 測定地点及び分析回数

測定地点は図 1-1 に示す町内 4 箇所(塩屋、本村、徳丸、北黒田)において、毎月 1 回実施した。

検体数：4 箇所×12 ヶ月(毎月 1 回)＝合計 48 検体

2-2 業務内容等

上記各箇所のシェルター内に設置されたサンプラーを毎月 1 回収し、実験室に持ち帰り「硫黄酸化物」の測定を行った。なお、翌月用の試料採取器具は、所定の試薬を塗布し設置した。

2-3 業務内容等

表 2-1 に示す、二酸化鉛法により採取した硫黄酸化物の測定を行った。

表 2-1 大気汚染測定調査分析項目及び方法

調査項目	調査方法	備考
硫黄酸化物	二酸化鉛法 (円筒に二酸化鉛を塗布した布を巻きつけ、シェルターに入れ 1 ヶ月間静置し、生成した硫酸鉛の硫酸イオンの定量分析を行った。)	<ul style="list-style-type: none">測定に要する試薬(二酸化鉛)は、発注者において準備した。受注者は、発注者が準備した試薬を用いて試料を作成し、測定調査を実施した。

2-4 調査結果

硫黄酸化物の分析結果は、表 2-2 に示すとおりであり、各測定地点の結果の範囲と平均値は以下のとおりである。

- ①塩 屋：0.07～0.21 [mg/日/100cm²]の範囲、平均値は 0.11 [mg/日/100cm²]
- ②本 村：0.05～0.11 [mg/日/100cm²]の範囲、平均値は 0.08 [mg/日/100cm²]
- ③徳 丸：0.04～0.11 [mg/日/100cm²]の範囲、平均値は 0.07 [mg/日/100cm²]
- ④北黒田：0.04～0.15 [mg/日/100cm²]の範囲、平均値は 0.10 [mg/日/100cm²]

表 2-2 大気汚染測定結果

単位：[mg/日/100cm²]

測定月	測定期間 上段：設置年月日 下段：回収年月日	調査地点			
		①塩屋	②本村	③徳丸	④北黒田
4月	平成27年3月23日 平成27年4月24日	0.21	0.11	0.10	0.09
5月	平成27年4月24日 平成27年5月22日	0.09	0.08	0.09	0.13
6月	平成27年5月22日 平成27年6月23日	0.15	0.11	0.12	0.08
7月	平成27年6月23日 平成27年7月24日	0.07	0.07	0.05	0.15
8月	平成27年7月24日 平成27年8月27日	0.07	0.05	0.06	0.05
9月	平成27年8月27日 平成27年9月25日	0.11	0.10	0.06	0.07
10月	平成27年9月25日 平成27年10月23日	0.08	0.07	0.05	0.04
11月	平成27年10月23日 平成27年11月25日	0.11	0.09	0.07	0.07
12月	平成27年11月25日 平成27年12月25日	0.07	0.05	0.04	0.09
1月	平成27年12月25日 平成28年1月22日	0.09	0.07	0.08	0.15
2月	平成28年1月22日 平成28年2月25日	0.10	0.05	0.07	0.12
3月	平成28年2月25日 平成28年3月25日	0.16	0.10	0.10	0.11
最大値		0.21	0.11	0.12	0.15
最小値		0.07	0.05	0.04	0.04
平均値		0.11	0.08	0.07	0.10

2-5 評価結果

一般大気環境中の環境基準の項目には硫黄酸化物がないことから、平成17年度から平成26年度に測定された各月の10年間の結果を取りまとめ表2-2に示し、本年度の測定結果との比較を図2-1に示した。

比較の結果、①塩屋の3月、②本村の11月、3月、③徳丸の11月、3月、④北黒田5月において、10年間の最大値であったが、それ以外の結果は10年間の最大値から最小値の間に収まっていた。したがって、本年の硫黄酸化物の濃度は、平年並みの濃度であったと評価される。

地点間でみると4地点のうち、①塩屋の硫黄酸化物が他の地点に比べてやや高い値を示しており、沿岸部に立地する工場等からの排ガス等による影響を受けているものと考えられた。

表2-2 過去10年間の結果とりまとめ(平成17年度～平成26年度)

項目	①塩屋			②本村			③徳丸			④北黒田		
	最大値	平均値	最小値									
4月	0.23	0.13	0.09	0.15	0.08	0.01	0.21	0.11	0.06	0.16	0.11	0.06
5月	0.20	0.14	0.04	0.12	0.07	0.01	0.12	0.08	0.00	0.13	0.08	0.03
6月	0.25	0.17	0.09	0.13	0.08	0.03	0.14	0.10	0.07	0.28	0.11	0.06
7月	0.20	0.12	0.06	0.12	0.07	0.03	0.18	0.10	0.05	0.16	0.08	0.04
8月	0.13	0.09	0.01	0.09	0.07	0.00	0.12	0.12	0.00	0.14	0.06	0.00
9月	0.14	0.09	0.05	0.11	0.07	0.02	0.07	0.05	0.04	0.09	0.07	0.00
10月	0.12	0.09	0.06	0.09	0.06	0.02	0.06	0.05	0.05	0.12	0.07	0.04
11月	0.13	0.07	0.02	0.09	0.07	0.03	0.07	0.05	0.03	0.10	0.08	0.05
12月	0.12	0.08	0.03	0.09	0.06	0.00	0.09	0.05	0.01	0.13	0.09	0.04
1月	0.14	0.10	0.04	0.11	0.07	0.02	0.09	0.07	0.04	0.17	0.12	0.08
2月	0.15	0.10	0.05	0.14	0.07	0.04	0.11	0.09	0.07	0.15	0.09	0.05
3月	0.16	0.12	0.04	0.10	0.07	0.02	0.10	0.09	0.08	0.13	0.09	0.03

※③徳丸は平成24年度以降の3年間分を取りまとめている。

※④北黒田の平成24年度から26年度の4月及び11月から3月については調査を実施していない。

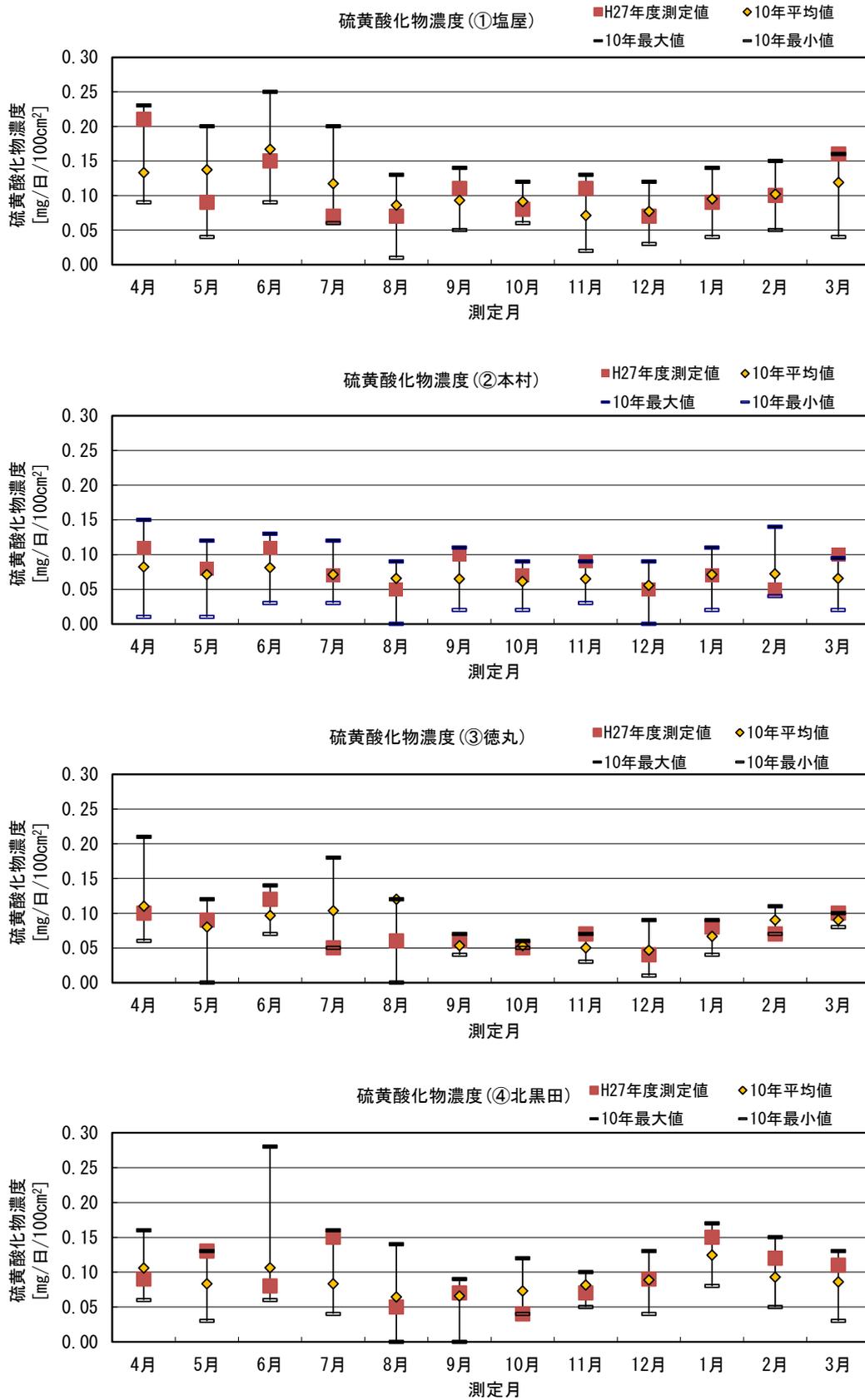


図 2-1 二酸化鉛法による硫酸化物濃度の比較結果

3. 公共用水域水質採水調査業務

各水域の採水と水質の分析を行った。

3-1 測定地点及び分析回数

1) 河川域: 町内 6 箇所(図 1-1 に示す A 古城橋、B 有明橋、C 鶴吉公民館前、D くろだ病院西、E 西沼寺、F 夫婦橋)において年 4 回実施した。

検体数 : 6 箇所×4 回=合計 24 検体

2) 海 域: 海域 5 箇所(図 1-1 に示す G 内港、H 新立北、I 新立南、J 塩屋北、K 塩屋南)において年 2 回実施した。なお、現地調査のうち 6 月は海岸より 2~3m 先の表層水を採取し、7 月は船上より表層水を採取した。

検体数 : 5 箇所×2 回=合計 10 検体

3) 汽水域: 町内 2 箇所(図 1-1 に示す L 塩美橋河川域・M 塩美橋海域)において年 3 回実施した。

なお、河口部には樋門があり、満潮時には海水の遡上を防止するため、通常樋門が閉じられている。試料採取実施時には当該樋門管理者の協力を得て、引き潮時の樋門の開いた状態で採水を行った。

検体数 : 2 箇所×3 回=合計 6 検体

3-2 業務内容等

上記各箇所において採水し水質の分析を行った。なお、水質分析項目は表 3-1 に示すとおりである。また、現地調査時には試料採取時の月日、時刻、天候、気温、水温の記録をあわせて行った。

3-3 計量方法

各項目の分析方法は表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1 公共用水域水質採水分析項目及び方法

種別	分析項目	分析方法
河川域	水素イオン濃度 (pH)	JIS K0102 12.1
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	JIS K0102 21
	浮遊物質量 (SS)	環境庁告示第 59 号付表 9
	溶存酸素量 (DO)	JIS K0102 32.1
	大腸菌群数	環境庁告示第 59 号別表 2 備考 4
	全窒素 (T-N)	JIS K0102 45.2
	全リン (T-P)	JIS K0102 46.3
海 域	水素イオン濃度 (pH)	JIS K0102 12.1
	化学的酸素要求量 (COD _{Mn})	JIS K0102 17
	溶存酸素量 (DO)	JIS K0102 32.1
	大腸菌群数	環境庁告示第 59 号別表 2 備考 4
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	環境庁告示第 59 号付表 13
汽水域	水素イオン濃度 (pH)	JIS K0102 12.1
	化学的酸素要求量 (COD _{Mn})	JIS K0102 17
	溶存酸素量 (DO)	JIS K0102 32.1
	鉛 (Pb)	JIS K0102 54.4
	総水銀 (T-Hg)	環境庁告示第 59 号付表 1
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	環境庁告示第 59 号付表 3
	砒素 (As)	JIS K0102 61.4

3-4 調査結果

1) 河川域

水質分析結果は表 3-2 に示すとおりであり、各地点の結果の概要は以下のとおりである。

A 古城橋

pH は 7.2~8.1、SS は 2~14 mg/L、BOD は 1.1~4.0 mg/L、DO は 7.8~12 mg/L、全窒素は 1.5~2.3 mg/L、全リンは 0.075~0.21 mg/L、大腸菌群数は 7,500~43,000 MPN/100mL の範囲で変動した。5月のSS及び全リン、8月のBODが他の調査月と比較して高い値であった。

B 有明橋

pH は 7.2~8.4、SS は 1~7 mg/L、BOD は 0.5~1.2 mg/L、DO は 9.5~11 mg/L、全窒素は 1.3~1.8 mg/L、全リンは 0.036~0.074 mg/L、大腸菌群数は 4,300~33,000 MPN/100mL の範囲で変動した。5月及び8月の全リン、大腸菌群数が他の調査月と比較して高い値であった。

C 鶴吉公民館前

pH は 7.2~7.9、SS は 2~6 mg/L、BOD は 1.7~2.5 mg/L、DO は 9.5~16 mg/L、全窒素は 1.8~3.8 mg/L、全リンは 0.20~0.28 mg/L、大腸菌群数は 4,300~49,000 MPN/100mL の範囲で変動した。

D くろだ病院西

pH は 7.1~7.4、SS は 2~4 mg/L、BOD は 0.7~1.7 mg/L、DO は 8.6~9.6 mg/L、全窒素は 1.7~2.4 mg/L、全リンは 0.048~0.091 mg/L、大腸菌群数は 9,300~43,000 MPN/100mL の範囲で変動した。

E 西沼寺

pH は 7.3~7.7、SS は 1~9 mg/L、BOD は 1.2~2.0 mg/L、DO は 8.0~12mg/L、全窒素は 1.4~2.2 mg/L、全リンは 0.14 mg/L、大腸菌群数は 4,300~43,000 MPN/100mL の範囲で変動した。5月及び8月のSSが高い値となった。

F 夫婦橋

pH は 7.2~7.4、SS は 4~21 mg/L、BOD は 1.6~4.2 mg/L、DO は 6.5~9.8 mg/L、全窒素は 2.1~3.0 mg/L、全リンは 0.18~0.28 mg/L、大腸菌群数は 14,000~110,000 MPN/100mL の範囲で変動した。

表 3-2 公共用水域水質分析結果(河川域)

項目	単位	調査地点					
		A古城橋	B有明橋	C鶴吉公民館前	Dくろだ病院西	E西沼寺	F夫婦橋
採取日時	—	平成27年5月7日					
		16:30	9:20	10:20	10:00	9:40	16:30
天候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	℃	18.0	21.0	19.5	21.0	22.0	18.0
水温	℃	20.8	18.5	21.0	19.5	20.0	21.0
pH	—	7.2	7.2	7.2	7.1	7.3	7.2
BOD	mg/L	1.8	0.8	1.7	0.7	2.0	1.6
SS	mg/L	14	7	6	2	9	21
DO	mg/L	9.2	11	9.8	9.1	9.3	8.3
全窒素	mg/L	2.3	1.8	3.8	2.2	2.2	3.0
全リン	mg/L	0.21	0.074	0.28	0.084	0.14	0.28
大腸菌群数	MPN/100mL	1.1×10^4	3.3×10^4	4.9×10^4	1.1×10^4	1.1×10^4	2.2×10^4
採取日時	—	平成27年8月3日					
		16:10	15:15	15:35	15:25	15:45	16:05
天候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	℃	33.6	33.6	33.6	33.8	33.7	32.3
水温	℃	29.1	26.5	31.0	25.8	30.2	31.1
pH	—	8.1	7.9	7.8	7.4	7.7	7.4
BOD	mg/L	4.0	1.2	2.4	1.7	1.9	3.5
SS	mg/L	5	5	2	2	7	8
DO	mg/L	12	10	16	9.6	8.0	6.5
全窒素	mg/L	1.5	1.5	2.8	2.4	1.4	2.1
全リン	mg/L	0.16	0.073	0.20	0.048	0.14	0.19
大腸菌群数	MPN/100mL	2.3×10^4	1.5×10^4	1.5×10^4	9.3×10^3	4.3×10^4	1.5×10^4
採取日時	—	平成27年11月10日					
		14:35	15:46	15:20	15:32	15:02	14:45
天候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	℃	23.5	21.0	22.0	21.5	22.5	21.0
水温	℃	20.4	19.1	18.7	18.8	19.8	19.8
pH	—	7.6	8.4	7.9	7.3	7.7	7.4
BOD	mg/L	1.3	0.5	2.5	0.8	1.2	4.2
SS	mg/L	3	1	6	4	1	4
DO	mg/L	12	9.5	9.5	8.6	10	8.5
全窒素	mg/L	1.7	1.3	1.8	1.7	1.9	2.50
全リン	mg/L	0.11	0.038	0.28	0.084	0.14	0.26
大腸菌群数	MPN/100mL	4.3×10^4	4.3×10^3	2.3×10^4	4.3×10^4	9.3×10^3	9.3×10^4
採取日時	—	平成28年2月3日					
		10:50	11:15	11:55	11:30	12:15	10:30
天候	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	℃	9.7	10.7	10.6	10.9	11.5	10.0
水温	℃	9.8	16.0	12.3	15.7	11.9	9.4
pH	—	7.3	7.5	7.4	7.3	7.5	7.2
BOD	mg/L	1.1	0.8	2.1	1.0	1.7	2.1
SS	mg/L	2	3	2	2	3	4
DO	mg/L	7.8	11	13	9.2	12	9.8
全窒素	mg/L	2.2	1.8	3.4	2.1	2.1	2.7
全リン	mg/L	0.075	0.036	0.20	0.091	0.14	0.18
大腸菌群数	MPN/100mL	7.5×10^3	9.3×10^3	4.3×10^3	9.3×10^3	4.3×10^3	9.3×10^3

2)海 域

水質分析結果は表 3-3 に示すとおりであった。

項目別にみると、

pH は全地点で 7.9～8.1 の範囲であった。

COD は 6 月、7 月ともに内港で他地点と比較して高い傾向であった。

DO は全地点で 7.0～8.4 の範囲であった。

ノルマルヘキサン抽出物質は全地点で定量下限値未満(不検出)であった。

大腸菌群数は 6 月、7 月ともに内港で他地点と比較して高い傾向であった。

内港において、COD 及び大腸菌群数等が他の地点と比較して高い傾向があることが認められた。

表 3-3 公共用水域水質分析結果(海域)

項 目	単 位	調査地点				
		G 内港	H 新立北	I 新立南	J 塩屋北	K 塩屋南
		※海岸より2～3m先で試料採取				
採取日時	—	平成27年6月1日				
		10:55	11:15	11:30	10:20	10:30
天 候	—	晴	晴	晴	晴	晴
気 温	℃	22.8	22.5	22.5	22.5	22.4
水 温	℃	22.2	21.7	22.0	19.3	19.5
pH	—	8.0	8.0	8.1	8.1	8.1
COD	mg/L	3.7	2.7	2.1	1.9	2.3
DO	mg/L	7.9	7.8	7.8	8.4	8.2
大腸菌群数	MPN/100mL	7.9×10^2	2.3×10^2	79	4	49
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
項 目	単 位	調査地点				
		内港	新立北	新立南	塩屋北	塩屋南
		※調査船上より試料採取				
採取日時	—	平成27年7月6日				
		9:55	9:45	9:35	9:15	9:25
天 候	—	小雨	小雨	小雨	小雨	小雨
気 温	℃	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0
水 温	℃	21.0	20.5	20.5	20.0	20.0
pH	—	7.9	8.1	8.1	8.1	8.1
COD	mg/L	2.2	1.4	1.4	1.6	1.2
DO	mg/L	7.0	7.8	7.8	7.7	7.6
大腸菌群数	MPN/100mL	3.3×10^3	33	1.3×10^2	33	23
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満

※表中「未満」は、定量下限値未満の数値であることを示す。

3) 汽水域

水質分析結果は表 3-4 に示すとおりであった。

項目別にみると、

pH：河川域が 7.1～7.3、海域が 7.7～8.0 の範囲で変動した。

COD：河川域が 2.1～3.0 mg/L、海域が 2.2～2.7 mg/L の範囲で変動した。

DO：河川域が 7.4～8.6 mg/L、海域が 8.6～9.2 mg/L の範囲で変動した。

金属類等の項目である鉛、総水銀、PCB 及び砒素は全ての検体で定量下限値未満であった。

表 3-4 公共用水域水質分析結果(汽水域)

項目	単位	調査地点	
		塩美橋河川域	塩美橋海域
採取日時	—	平成27年6月1日	
		10:00	9:45
天候	—	晴	晴
気温	℃	22.5	22.5
水温	℃	24.5	20.5
pH	—	7.3	8.0
COD	mg/l	3.0	2.2
DO	mg/l	7.7	8.6
鉛	mg/l	0.001未満	0.001未満
総水銀	mg/l	0.0005未満	0.0005未満
PCB	mg/l	不検出	不検出
砒素	mg/l	0.001未満	0.001未満
採取日時	—	平成27年10月6日	
		7:45	7:30
天候	—	晴	晴
気温	℃	18.0	17.5
水温	℃	19.7	21.4
pH	—	7.1	7.7
COD	mg/l	2.1	2.6
DO	mg/l	7.4	8.6
鉛	mg/l	0.001未満	0.001未満
総水銀	mg/l	0.0005未満	0.0005未満
PCB	mg/l	不検出	不検出
砒素	mg/l	0.001未満	0.001未満
採取日時	—	平成28年2月3日	
		16:50	17:05
天候	—	晴	晴
気温	℃	10.3	10.3
水温	℃	12.4	12.3
pH	—	7.1	8.0
COD	mg/l	2.8	2.7
DO	mg/l	8.6	9.2
鉛	mg/l	0.001未満	0.001未満
総水銀	mg/l	0.0005未満	0.0005未満
PCB	mg/l	不検出	不検出
砒素	mg/l	0.001未満	0.001未満

※表中「未満」は、定量下限値未満の数値であることを示し、「水質汚濁に係る環境基準」の PCB の基準値が「検出されないこと」とされているため、公定法により分析を実施し、定量下限値未満の値をもって「不検出」標記した。

3-5 評価結果

1) 河川域

調査地点の河川には、生活環境の保全に関する環境基準の類型は指定されていないが、重信川（A 類型）の南側に位置することから、参考に表 3-5 に示す環境基準の A 類型の基準値と比較を行った。

pH は、全ての採取日及び調査地点で基準値内であった。

SS は、全ての採取日及び調査地点で基準値以下であった。

BOD は、8 月の古城橋で、8 月～2 月の鶴吉公民館及び夫婦橋で基準値を超過していた。

DO は、8 月の夫婦橋で基準値を下回っていた。

大腸菌群数は、全ての採取日及び調査地点で基準値を超過していた。

なお、全リンと全窒素は河川の環境基準値は設定されていない。

環境基準との比較の結果、大腸菌群数は全ての採水日及び調査地点で基準値を超過しているが、大腸菌群数を除いて考えると有明橋、くろだ病院西及び西沼寺においては、概ね良好な水質が保たれていると評価される。

夫婦橋においては、BOD が他の地点より高い傾向にあり、また、DO が水温の高い夏に基準値以下であることから、他の地点と比較して水質は汚濁傾向にあると評価される。

表 3-5 公用水域(河川域)の比較結果

項目	単位	調査地点:A古城橋				調査地点:B有明橋				環境基準 (A類型)
		5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	
採取日	—	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	
pH	—	7.2	8.1	7.6	7.3	7.2	7.9	8.4	7.5	6.5以上8.5以下
BOD	mg/L	1.8	4.0	1.3	1.1	0.8	1.2	0.5	0.8	2以下
SS	mg/L	14	5	3	2	7	5	1	3	25以下
DO	mg/L	9.2	12	12	7.8	11	10	9.5	11	7.5以上
全窒素	mg/L	2.3	1.5	1.7	2.2	1.8	1.5	1.3	1.8	—
全リン	mg/L	0.21	0.16	0.11	0.075	0.074	0.073	0.038	0.036	—
大腸菌群数	MPN/100mL	1.1×10 ⁴	2.3×10 ⁴	4.3×10 ⁴	7.5×10 ³	3.3×10 ⁴	1.5×10 ⁴	4.3×10 ³	9.3×10 ³	1,000以下
項目	単位	調査地点:C鶴吉公民館前				調査地点:Dくろだ病院西				環境基準 (A類型)
		5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	
採取日	—	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	
pH	—	7.2	7.8	7.9	7.4	7.1	7.4	7.3	7.3	6.5以上8.5以下
BOD	mg/L	1.7	2.4	2.5	2.1	0.7	1.7	0.8	1.0	2以下
SS	mg/L	6	2	6	2	2	2	4	2	25以下
DO	mg/L	9.8	16	9.5	13	9.1	9.6	8.6	9.2	7.5以上
全窒素	mg/L	3.8	2.8	1.8	3.4	2.2	2.4	1.7	2.1	—
全リン	mg/L	0.28	0.20	0.28	0.20	0.084	0.048	0.084	0.091	—
大腸菌群数	MPN/100mL	4.9×10 ⁴	1.5×10 ⁴	2.3×10 ⁴	4.3×10 ³	1.1×10 ⁴	9.3×10 ³	4.3×10 ⁴	9.3×10 ³	1,000以下
項目	単位	調査地点:E西沼寺				調査地点:F夫婦橋				環境基準 (A類型)
		5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	
採取日	—	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	5月7日	8月3日	11月10日	2月3日	
pH	—	7.3	7.7	7.7	7.5	7.2	7.4	7.4	7.2	6.5以上8.5以下
BOD	mg/L	2.0	1.9	1.2	1.7	1.6	3.5	4.2	2.1	2以下
SS	mg/L	9	7	1	3	21	8	4	4	25以下
DO	mg/L	9.3	8.0	10	12	8.3	6.5	8.5	9.8	7.5以上
全窒素	mg/L	2.2	1.4	1.9	2.1	3.0	2.1	2.5	2.7	—
全リン	mg/L	0.14	0.14	0.14	0.14	0.28	0.19	0.26	0.18	—
大腸菌群数	MPN/100mL	1.1×10 ⁴	4.3×10 ⁴	9.3×10 ³	4.3×10 ³	2.2×10 ⁴	1.5×10 ⁴	9.3×10 ⁴	9.3×10 ³	1,000以下

※表中 は、環境基準値を満足していない値を示す。

2)海 域

調査地点の海域には、生活環境の保全に関する環境基準のB類型が指定されており、表3-6に示す環境基準との比較を行った。

pH：全ての採水日及び調査地点で基準値の範囲内であった。

COD：内港の6月において基準値を超過していた。

DO：全ての採水日及び調査地点で基準値以上であった。

ノルマルヘキサン抽出物質：全ての採水日及び調査地点で定量下限値未満(不検出)であった。

なお、B類型海域において大腸菌群数の環境基準値は設定されていない(ただし、A類型海域では指定あり)。

B類型海域の環境基準との比較の結果、内港のCODが6月において基準値を満足していなかった。内港では水の循環が他地点と比較して弱く汚濁物質の滞留しやすい地点のため、汚濁しやすいと考えられる。

その他の地点については、基準を満足しており良好な水質が保たれていると考えられる。

表3-6 公共用水域(海域)の比較結果

項目	単位	採水日	調査地点					環境基準 (B類型)
			G内港	H 新立北	I 新立南	J 塩屋北	K 塩屋南	
pH	-	H27.6.1	8.0	8.0	8.1	8.1	8.1	7.8以上
		H27.7.6	7.9	8.1	8.1	8.1	8.1	8.3以下
COD	mg/L	H27.6.1	3.7	2.7	2.1	1.9	2.3	3以下
		H27.7.6	2.2	1.4	1.4	1.6	1.2	
DO	mg/L	H27.6.1	7.9	7.8	7.8	8.4	8.2	5以上
		H27.7.6	7.0	7.8	7.8	7.7	7.6	
大腸菌群数	MPN/100mL	H27.6.1	7.9×10^2	2.3×10^2	79	4	49	-
		H27.7.6	3.3×10^3	33	1.3×10^2	33	23	
ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	H27.6.1	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	検出せず
		H27.7.6	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	

※表中 は、環境基準値を満足していない値を示す。

3) 汽水域

前述と同様に、pH、SS、COD は生活環境の保全に関する環境基準の A 類型(河川域)、B 類型(海域)の環境基準との比較を行い、鉛、総水銀、PCB、砒素の 4 項目については、公共用水域における人の健康の保護に関する環境基準と比較した。比較結果は表 3-7 に示すとおりである。

pH は、10 月の海域で基準値より低い値であった。

COD は、海域のみに適用されるが、全ての採水日で基準値以下であった。

DO は、10 月の河川域で基準値より低い値であった。

鉛、総水銀、PCB 及び砒素は、全ての採水日及び調査地点で定量下限値未満(不検出)であった。

環境基準との比較の結果、基準を満たしていないところもあるが、基準値から大きく外れた値ではなく、概ね良好な水質が保たれていると評価される。

表 3-7 公共用水域(汽水域)の比較結果

項目	単位	調査地点			環境基準 河川域 (A類型)
		L塩美橋河川域(河川水)			
採取日	—	平成27年6月1日	平成27年10月6日	平成28年2月3日	
pH	—	7.3	7.1	7.1	6.5以上8.5以下
COD	mg/l	3.0	2.1	2.8	—
DO	mg/l	7.7	7.4	8.6	7.5以上
鉛	mg/l	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
総水銀	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005以下
PCB	mg/l	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
砒素	mg/l	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
項目	単位	調査地点			環境基準 海域 (B類型)
		M塩美橋海域(海水)			
採取日	—	平成27年6月1日	平成27年10月6日	平成28年2月3日	
pH	—	8.0	7.7	8.0	7.8以上8.3以下
COD	mg/l	2.2	2.6	2.7	3以下
DO	mg/l	8.6	8.6	9.2	5以上
鉛	mg/l	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
総水銀	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005以下
PCB	mg/l	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
砒素	mg/l	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下

※表中 は、環境基準値を満足していない値を示す。

4. 騒音測定調査業務

各地点の騒音の測定を行った。

4-1 測定地点及び分析回数

1) 環境騒音：町内 6 箇所(図 1-1 に示す、a 筒井公民館、b 義農公園、c 古城歯科前、d 地蔵町公園、e 黒田公園、f エミフルまさき付近)において 1 回実施した。なお、測定時間は 24 時間とした。

測定数：環境騒音；6 箇所×1 回(24 時間)

2) 交通騒音：町内 3 箇所(図 1-1 に示す県道東レ前、県道松前小学校前、国道 56 号線)の道路沿線において 1 回実施した。なお、測定時間は 24 時間測定とした。

また、上記調査実施時にあわせて背後地において、昼間 2 回、夜間 2 回の測定も実施したほか、交通条件の観測も昼間 3 回、夜間 2 回実施した。

測定数：交通騒音；3 箇所×1 回(24 時間)

背後地騒音；3 箇所×4 回(昼夜各 2 回)

交通条件；3 箇所×5 回(昼 3 回、夜 2 回)

4-2 業務内容等

上記各箇所において表 4-1 に示すとおり騒音測定を行った。また、交通騒音測定箇所においては、交通量及び走行速度調査も実施するほか調査状況の確認できる写真撮影を行った。

なお、測定時間毎の気温、湿度、風向、風速、降水量、天候等の気象条件については、松山気象台の観測値を整理した。

4-3 調査方法

環境騒音及び交通騒音の測定は、JIS Z 8731 に定められた測定方法により実施した。なお、騒音計の設置高さは原則として地上 1.2m とし、騒音計の聴感補正は A 特性、動特性は FAST とした。

環境騒音及び交通騒音の測定時間は、24 時間測定とし、観測時間(1 時間)毎の等価騒音レベル及び時間率騒音レベルについて整理を行い、「騒音に係る環境基準」等との整合性について評価を行った。また、背後地においては、昼間(6:00~22:00)、夜間(22:00~翌 6:00)のうち測定を各 2 回実施した。

交通条件の観測については、昼間(6:00~22:00)、夜間(22:00~翌 6:00)のうち 10 分間の交通量観測等を昼間 3 回、夜間 2 回実施した。

表 4-1 騒音調査方法

調査項目・調査方法	備考
「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年環境庁告示 64 号)及び「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」II 地域評価編(道路に面する地域)(環境省 平成 12 年 4 月)に基づく調査項目及び調査方法	・車種別交通量は、4 つに車種を分類(二輪車、小型車、大型 I、大型 II)し、昼間 3 観測時間以上、夜間 2 観測時間以上の観測を行った。 ・車両平均走行速度は 3 つに車種を分類(二輪車、小型車、大型車)し、交通量の観測と同じ時間に観測を行った。

4-4 調査結果

騒音測定結果は表 4-2 に示すとおりであった。

環境騒音測定地点の等価騒音レベルは、a 筒井公民館は昼間 47dB、夜間 38dB、b 義農公園は昼間 51dB、夜間 41dB、c 古城歯科前は昼間 44dB、夜間 35dB、d 地蔵町公園は昼間 46dB、夜間 39dB、e 黒田公園は昼間 48dB、夜間 39dB、f エミフルまさき付近は昼間 54dB、夜間 43dB であり、周辺道路を走行する車両の影響を多く受けたエミフルまさきの結果が、昼間及び夜間とも高くなっている。

また、交通騒音測定地点の東レ前は昼間 63dB、夜間 58dB、松前小学校前は昼間 71dB、夜間 65dB、国道 56 号線は昼間 71dB、夜間 64dB であり、東レ前に比べ他の 2 地点が高い結果となっている。

要因としては、松前小学校前は道路幅員が狭く、走行車両の影響を強く受ける地点であること、国道 56 号線は他の地点に比べ交通量が多い地点であることがあげられる。

一方、背後地騒音については、東レ前背後地は昼間 42dB、夜間 36dB、松前小学校前背後地は 44dB、夜間 39dB、国道 56 号線背後地は昼間 53dB、夜間 45dB であり、交通量の多い国道 56 号線からの影響を受けた国道 56 号線の背後地の結果が、昼間及び夜間とも高くなっている。

表 4-2 騒音測定結果

単位：[dB]

調査地点			等価騒音レベル		
			昼間	夜間	
			午前6時～ 午後10時	午後10時～ 翌朝の午前6時	
環境騒音 (一般地域)		平成27年11月19日(木) ～ 平成27年11月20日(金)	a筒井公民館	47	38
			b義農公園	51	41
			c古城歯科前	44	35
			d地蔵町公園	46	39
			e黒田公園	48	39
			fエミフルまさき付近	54	43
交通騒音	沿道	平成27年11月24日(火) ～ 平成27年11月25日(水)	g県道東レ前	63	58
			h県道松前小学校前	71	65
			i国道56号線	71	64
	背後地		g県道東レ前 背後地	42	36
			h県道松前小学校前 背後地	44	39
			i国道56号線 背後地	53	45

騒音測定と同日に実施した平均走行速度及び交通量の測定結果は、表 4-3、表 4-4 に示すとおりであった。

平均走行速度は、県道東レ前が 44～62km/h、県道松前小学校前が 33～52km/h、国道 56 号線が 46～57km/h であった。また、10 分間交通量の測定の結果、国道 56 号線の交通量が最も多く、東レ前の交通量が最も少ない結果であった。

なお、調査日当日の気象データは調査地点最寄りの松山地方気象台のデータを整理し表 4-5、表 4-6 に示した。11 月 24 日の 18 時から 20 時は風速 5m/s を超えているが、長時間続いてはならず、必要な測定時間は確保できた。その他の日時については雨や風などの測定値への影響はない天候であった。

表 4-3 交通量及び平均走行速度測定結果

調査地点	時間帯	観測時間	10分間交通量(台)									
			松山市方面					伊予市方面				
			大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型	二輪	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型	二輪	合計
県道東レ前	昼間	6~7	0	0	25	4	29	0	0	12	1	13
		13~14	0	4	47	2	53	0	1	29	0	30
		18~19	0	1	43	5	49	1	0	46	5	52
	夜間	22~23	0	0	14	2	16	0	0	9	1	10
		4~5	0	0	1	0	1	0	0	4	0	4
	時間帯 平均値	昼間	0	2	38	4	44	0	0	29	2	32
		夜間	0	0	8	1	9	0	0	7	1	7
県道松前小学校前	昼間	6~7	1	0	62	9	72	2	3	60	5	70
		13~14	2	5	72	2	81	1	5	77	1	84
		18~19	0	5	63	6	74	0	3	70	8	81
	夜間	22~23	0	1	6	1	8	0	0	18	2	20
		4~5	0	0	10	0	10	1	4	9	0	14
	時間帯 平均値	昼間	1	3	66	6	76	1	4	69	5	78
		夜間	0	1	8	1	9	1	2	14	1	17
国道56号線	昼間	6~7	3	6	69	1	79	3	7	49	1	60
		13~14	5	19	147	4	175	2	3	159	4	168
		18~19	1	10	200	5	216	2	4	173	14	193
	夜間	22~23	0	3	44	3	50	0	2	59	5	66
		4~5	0	5	6	0	11	0	1	8	1	10
	時間帯 平均値	昼間	3	12	139	3	157	2	5	127	6	140
		夜間	0	4	25	2	31	0	2	34	3	38

注) 1. 表中の時間帯別平均は、昼間、夜間の各2時間帯における平均走行速度の算術平均を示す。

表 4-4 平均走行速度測定結果

調査地点	時間帯	観測時間	平均走行速度(km/時)					
			松山市方面			伊予市方面		
			大型	小型	二輪	大型	小型	二輪
県道東レ前	昼間	6~7	-	53	50	-	53	51
		13~14	48	54	58	46	51	-
		18~19	46	47	44	44	50	37
	夜間	22~23	-	50	47	-	54	62
		4~5	-	48	-	-	58	-
	時間帯 平均値	昼間	47	51	51	45	51	44
		夜間	-	49	47	-	56	62
県道松前小学校前	昼間	6~7	47	47	42	38	44	39
		13~14	40	44	38	39	41	29
		18~19	41	40	35	36	45	35
	夜間	22~23	50	54	33	-	45	37
		4~5	-	50	-	51	49	-
	時間帯 平均値	昼間	43	44	38	38	43	34
		夜間	50	52	33	51	47	37
国道56号線	昼間	6~7	61	68	44	61	61	46
		13~14	47	47	51	43	45	43
		18~19	47	54	53	53	58	49
	夜間	22~23	49	54	53	48	58	50
		4~5	51	59	-	49	56	45
	時間帯 平均値	昼間	52	56	49	52	55	46
		夜間	50	57	53	49	57	48

注) 1. 表中の時間帯別平均は、昼間、夜間の各2時間帯における平均走行速度の算術平均を示す。

注) 2. 表中平均走行速度の-は、観測時間に車両の走行がなかったことを示す。

表 4-5 調査日当日の気象データ

(平成 27 年 11 月 19 日～11 月 20 日)

時	気温 (°C)	湿度 (%)	風速 (m/s)	風向	降水量 (mm)	天気
9	15.8	71	2.0	NNW	0	曇
10	17.0	68	1.8	WNW	0	曇
11	17.0	64	1.6	SSE	0	曇
12	17.2	66	2.9	NNE	0	曇
13	17.2	64	3.7	NNE	0	曇
14	17.0	64	3.3	NNE	0	曇
15	17.0	61	3.1	NE	0	曇
16	16.7	63	1.6	NE	0	曇
17	15.9	67	2.0	NNE	0	曇
18	15.1	74	1.5	ESE	0	曇
19	14.9	77	0.6	SSE	0	曇
20	14.1	80	1.0	NE	0	曇
21	13.7	82	0.7	ENE	0	曇
22	13.8	83	2.4	SE	0	曇
23	13.4	85	0.9	SE	0	曇
24	12.6	88	0.8	NNE	0	曇
1	11.8	90	1.7	ESE	0	曇
2	12.1	88	1.9	SSE	0	晴
3	11.3	92	0.3	SE	0	晴
4	11.4	91	0.7	E	0	晴
5	12.3	84	2.1	ENE	0	晴
6	12.2	85	1.4	S	0	曇
7	12.5	86	0.8	ENE	0	曇
8	13.4	82	2.0	E	0	薄曇
9	14.9	76	1.6	SSE	0	薄曇
平均値	14.4	77	1.7	NNE	0	-

※風向の平均値は最多出現風向を示す。

※出典: 気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

表 4-6 調査日当日の気象データ (2)

(平成 27 年 11 月 24 日～11 月 25 日)

時	気温 (°C)	湿度 (%)	風速 (m/s)	風向	降水量 (mm)	天気
8	16.1	81	1.1	N	0	曇
9	16.4	83	0.7	N	0	曇
10	17.0	75	4.3	N	0	曇
11	17.4	66	4.6	N	0	曇
12	18.1	66	4.1	N	0	曇
13	17.5	63	4.4	N	0	曇
14	17.6	61	4.5	N	0	曇
15	17.7	58	4.5	N	0	曇
16	17.4	58	3.5	NNE	0	曇
17	16.8	63	3.6	N	0	曇
18	15.9	60	6.5	NNE	0	曇
19	14.5	61	5.3	NNE	0	曇
20	13.8	61	5.7	NNE	0	薄曇
21	13.3	65	3.7	NNE	0	薄曇
22	12.9	66	3.9	NNE	0	薄曇
23	12.6	66	3.3	NNE	0	薄曇
24	12.4	67	1.7	N	0	曇
1	11.9	69	2.2	ENE	0	曇
2	12.1	69	0.4	W	0	曇
3	12.0	68	2.3	ENE	0	曇
4	11.5	70	0.6	W	0	曇
5	11.2	74	1.7	ENE	0	晴
6	11.7	71	0.8	W	0	晴
7	11.4	76	1.7	ESE	0	晴
8	12.1	71	0.8	ESE	0	晴
平均値	14.5	68	3.0	N	0	-

※風向の平均値は最多出現風向を示す。

※出典: 気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

4-7 評価結果

1) 調査地点における環境基準の類型指定

各調査地点における環境基準の類型指定状況は、図 4-1 及び表 4-7 に示すとおりである。

環境騒音の各調査地点には「一般地域」の環境基準が適用され、交通騒音の沿道 3 地点については「幹線交通を担う道路に近接する空間」における特例の環境基準、背後地 3 地点については「道路に面する地域」の環境基準が適用される。

なお、環境基準との比較は、各時間区分の等価騒音レベルにより評価を行う。

表 4-7 環境基準の類型指定のあてはめ

調査地点		地域区分と類型指定	環境基準[dB]		
			昼間	夜間	
環境騒音 (一般地域)	筒井公民館	一般地域：B類型	55以下	45以下	
	義農公園	一般地域：B類型	55以下	45以下	
	古城歯科前	一般地域：B類型	55以下	45以下	
	地蔵町公園	一般地域：B類型	55以下	45以下	
	黒田公園	一般地域：A類型	50以下	40以下	
	エミフルまさき付近	一般地域：B類型	55以下	45以下	
交通騒音	沿道	県道東レ前	幹線交通を担う道路に近接する空間	70以下	65以下
		県道松前小学校前	幹線交通を担う道路に近接する空間	70以下	65以下
		国道56号線	幹線交通を担う道路に近接する空間	70以下	65以下
	背後地	県道東レ前 背後地	道路に面する地域：B類型	65以下	60以下
		県道松前小学校前 背後地	道路に面する地域：B類型	65以下	60以下
		国道56号線 背後地	道路に面する地域：B類型	65以下	60以下

2) 環境基準との比較結果

調査地点毎に環境基準の類型指定をあてはめ、騒音測定結果を表 4-8 に示す基準値との比較を行った。

環境騒音(一般地域)は、測定を実施した全ての地点で基準値を満足していた。

交通騒音(沿道)は、県道松前小学校前の昼間及び国道 56 号線の昼間が基準値を超過していた。

交通騒音(背後地)は、全ての調査地点で基準値以下であった。

交通量の比較的多い調査地点において環境基準値を超過している。

表 4-8 環境基準との比較結果

調査地点		等価騒音レベル(昼間) [dB]		等価騒音レベル(夜間) [dB]		
		測定結果	環境基準	測定結果	環境基準	
環境騒音 (一般地域)	筒井公民館	47	55以下	38	45以下	
	義農公園	51	55以下	41	45以下	
	古城歯科前	44	55以下	35	45以下	
	地蔵町公園	46	55以下	39	45以下	
	黒田公園	48	50以下	39	40以下	
	エミフルまさき付近	54	55以下	43	45以下	
交通騒音	沿道	県道東レ前	63	70以下	58	65以下
		県道松前小学校前	71	70以下	65	65以下
		国道56号線	71	70以下	64	65以下
	背後地	県道東レ前 背後地	42	65以下	36	60以下
		県道松前小学校前 背後地	44	65以下	39	60以下
		国道56号線 背後地	53	65以下	45	60以下

※表中■は、環境基準値を超過している値を示す。

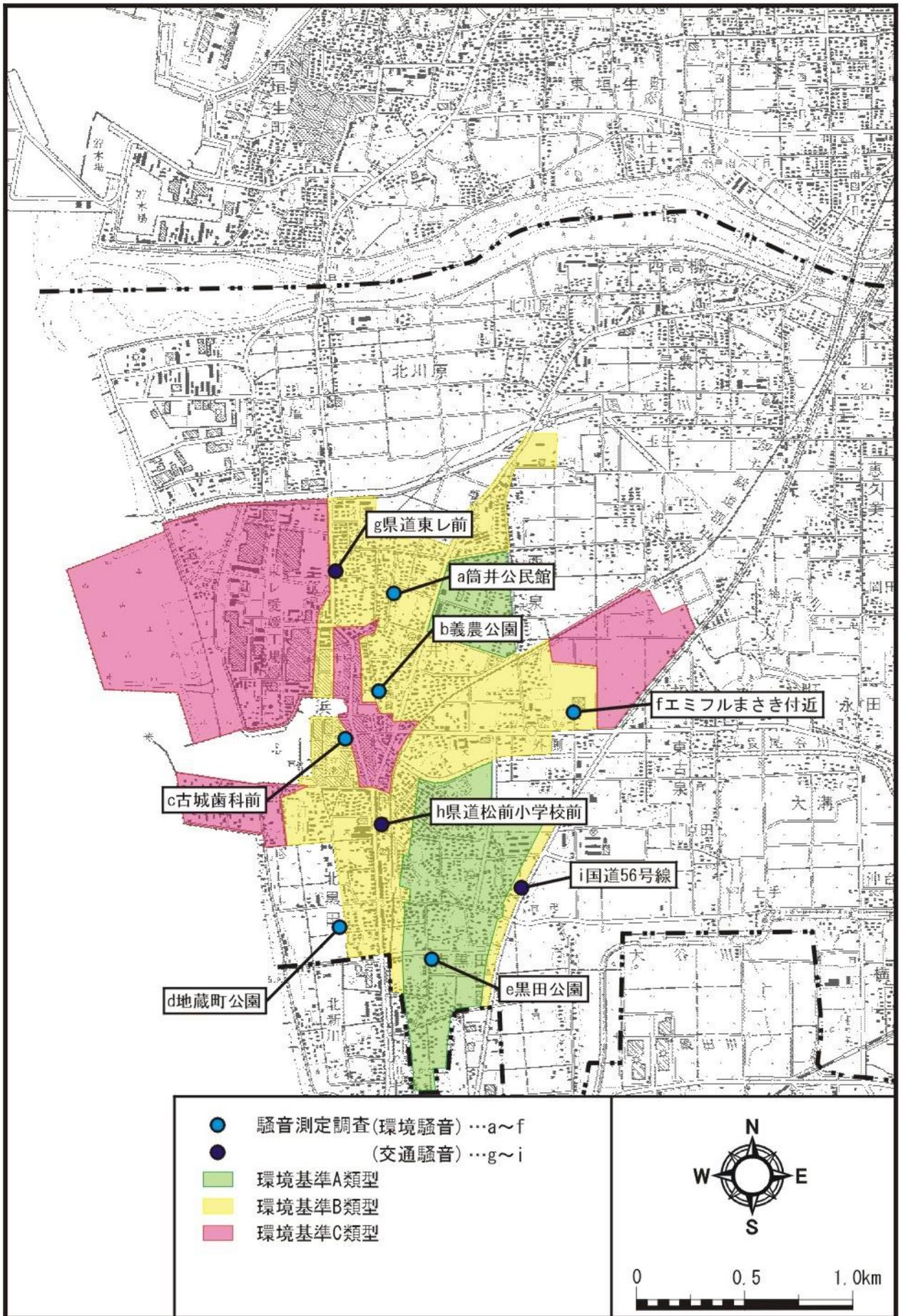


図 4-1 環境基準の類型指定状況

5. 環境悪臭物質測定調査業務

各地点の試料採取と悪臭の分析を行った。

5-1 測定地点及び分析回数

測定地点は図 1-1 に示す、町内 4 箇所(東レ周辺(北側、南側、東側、西側))において年 2 回実施した。

検体数：4 箇所×2 回＝合計 8 検体

5-2 業務内容等

上記各箇所において試料を採取し悪臭の分析を行った。なお、悪臭分析項目は表 5-1 に示すとおりである。

また、現地調査時には試料採取時の月日、時刻、天候、気温の記録を行った。

5-3 計量方法

各項目の分析方法は表 5-1 に示すとおりである。

表 5-1 環境悪臭物質分析項目及び方法

項目	分析項目	分析方法
悪臭	アンモニア	特定悪臭物質濃度 (昭和 47 年環境庁告示第 9 号)
	硫化水素	
	硫化メチル	
	二硫化メチル	
	アセトアルデヒド	

5-4 調査結果

環境悪臭物質測定結果は表 5-2 に示すとおりであった。

夏季(6月)に実施した調査の結果、南側及び東側の地点でそれぞれアンモニアが 0.09ppm 検出されたが、その他の項目及び調査地点では悪臭物質は全て定量下限値未満であった。

冬季(12月)に実施した調査の結果、東側の地点でそれぞれアンモニアが 0.08ppm 検出されたが、その他の項目及び調査地点では悪臭物質は全て定量下限値未満であった。

表 5-2 環境悪臭物質測定結果

項目	単位	調査地点			
		東レ北	東レ西	東レ南	東レ東
採取日		平成27年6月15日			
上段：開始時間		11:00	10:30	10:05	9:30
下段：終了時間		11:25	10:55	10:30	9:55
天候	—	晴	晴	晴	晴
風向	—	北西	無風	西北西	無風
風速	m/s	1.5	0.5未満	2.0	0.5未満
気温	°C	24.4	28.6	25.6	28.4
気圧	hPa	1018	1018	1019	1019
臭いの状況	—	無臭	無臭	微臭(草木臭)	無臭
アンモニア	ppm	0.05未満	0.05未満	0.09	0.09
硫化水素	ppm	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
硫化メチル	ppm	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
二硫化メチル	ppm	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アセトアルデヒド	ppm	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
採取日		平成27年12月1日			
上段：開始時間		11:55	11:25	10:50	10:15
下段：終了時間		12:20	11:50	11:15	10:40
天候	—	晴	晴	晴	晴
風向	—	北	北	北西	北
風速	m/s	1.3	1.2	1.5	0.6
気温	°C	15.8	15.5	15.2	14.6
気圧	hPa	57	55	58	55
臭いの状況	—	無臭	無臭	微(化学臭)	無臭
アンモニア	ppm	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.08
硫化水素	ppm	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
硫化メチル	ppm	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
二硫化メチル	ppm	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アセトアルデヒド	ppm	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満

5-4 評価結果

1) 調査地点の区域指定状況

調査地点は、「悪臭防止法に基づく規制地域における規制基準」(平成16年3月30日 愛媛県告示第660号)により、B区域に指定されている。

2) 規制基準との比較結果

調査地点における悪臭物質の測定結果を、表5-6に示す規制規準値と比較を行った。

アンモニアは、夏季に南側及び東側、冬季に東側で検出されたが、いずれも規制規準値以下であった。その他の項目は、全ての試料採取日及び調査地点で定量下限値未満であった。

悪臭物質については、全ての項目ともB区域の規制地域における規制基準値以下であり、悪臭物質による周辺環境への影響はほとんど無いと評価される。

表 5-3 規制規準値との比較結果

項目	単位	試料採取日	調査地点				規制基準(B区域)
			東レ北	東レ西	東レ南	東レ東	
アンモニア	ppm	H27.6.15	0.05未満	0.05未満	0.09	0.09	2以下
		H27.12.1	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.08	
硫化水素	ppm	H27.6.15	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.06以下
		H27.12.1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
硫化メチル	ppm	H27.6.15	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05以下
		H27.12.1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
二硫化メチル	ppm	H27.6.15	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.03以下
		H27.12.1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
アセトアルデヒド	ppm	H27.6.15	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.1以下
		H27.12.1	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	